

# 水道事業経

区 分	平成 22 年度		平成 21 年度			算 出 方 法
		対前 年度 評価	久留米市	全国平均	給水人口 15万以上 30万未満 事業平均	
<b>長期的健全性</b>						
1 固定資産構成比率(%)	88.7	×	87.7	91.4	90.5	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$
2 固定負債構成比率(%)	27.5		30.8	32.7	34.5	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{総資本}} \times 100$
3 自己資本構成比率(%)	69.7		66.9	65.5	63.8	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
4 固定資産対 長期資本比率(%)	91.3	×	89.8	93.0	92.1	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$
5 固定比率(%)	127.4		131.2	139.5	141.9	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$
<b>短期的支払能力</b>						
6 流動比率(%)	401.9	×	526.2	475.4	540.4	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
7 酸性試験比率(%) (当座比率)	392.5	×	515.4	405.0	492.5	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$
8 現金比率(%)	306.7	×	312.1	342.1	410.7	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$
<b>資産・資本の有効利用等</b>						
9 自己資本回転率(回)	0.2	-	0.2	0.1	0.2	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \div 2}$
10 固定資産回転率(回)	0.1	×	0.2	0.1	0.1	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \div 2}$
11 当年度減価償却率(%)	3.8	-	3.8	3.2	3.5	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{固定資産(有形+無形)} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{減価償却費}} \times 100$
<b>利益率・収益性</b>						
12 総資本利益率(%)	2.0		1.9	0.8	0.6	$\frac{\text{当年度純利益} - \text{当年度純損失}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \div 2} \times 100$
13 総収支比率(%)	118.1		116.7	109.2	105.9	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$
14 経常収支比率(%)	118.4		116.9	109.3	106.2	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
15 営業収支比率(%)	125.0		123.3	117.1	111.3	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$

# 営 分 析 表

区 分	平成 22 年度		平成 21 年度			算 出 方 法
	対前 年度 評価		久留米市	全国平均	給水人口 15万以上 30万未満 事業平均	
<b>企業債関連</b>						
16 利子負担率 (%)	2.5	×	2.2	2.9	2.7	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{他会計借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$
17 企業債償還元金 対減価償却額比率 (%)	99.1	×	97.9	77.3	68.4	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$
18 企業債償還元金 対料金収入比率 (%)	24.3	×	23.9	23.6	20.2	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$
19 企業債利息 対料金収入比率 (%)	4.8	-	4.8	9.6	8.8	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$
20 企業債元利償還金 対料金収入比率 (%)	29.1	×	28.6	33.2	29.0	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$
<b>職員関連</b>						
21 職員給与費 対料金収入比率 (%)	19.1	×	18.3	14.5	15.5	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$
22 職員一人当たり 営業収益 (千円)	57,505		55,073	66,597	58,626	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
23 職員一人当たり 有形固定資産 (千円)	332,611		317,823	517,816	411,099	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}}$

## 備 考

- 1 対前年度評価は、久留米市における前年度数値との比較で、状態が好ましい方向へ推移しているものを「」、好ましくない方向へ推移しているものを「×」と表示している。また、前年度と比べて変化のないものは「-」と表示している。
- 2 自己資本は、自己資本金と剰余金の合計額を用いて算出している。
- 3 総資本は、負債と資本との合計額を用いて算出している。
- 4 21の職員給与費は、損益勘定所属職員に係る給与費から算出している。
- 5 全国平均欄の数値は、「地方公営企業年鑑」(総務省自治財政局編)の「水道事業(14)累年貸借対照表及び財務分析表(法適用)イ 財務分析表」の数値を用いている。